

山梨県立やまびこ支援学校 交流だより



令和4年7月22日
総務部発行

学校間交流

7月8日(金)に上野原高等学校の生徒が来校し、本校高等部生徒と1回目の交流及び共同学習を行いました。上野原高校からは、福祉の授業を選択している11名の生徒が来校し、一緒に職業Ⅱの作業班での活動を行いました。初めは緊張している様子も見られましたが、作業を共にする中で徐々に打ち解け、生徒同士で会話ややり取りをする様子も見られ、有意義な交流になりました。コロナ感染症の影響から、昨年度はリモートでの交流会でしたが、今年度は久しぶりに直接来校しての交流会となりました。感染症対策として、はじめの会、おわりの会は作業班ごとリモートで繋ぎ、各作業室での参加となりました。それぞれの作業班で作った製品を上野原高校生へプレゼントしたり、福祉の授業の中で作ったメダルをプレゼントされたりといった場面もありました。

午後の時間帯のみの短い交流でしたが、交流終了後には「楽しかった」という感想や「友達になれました」の報告の声が聞かれ、次の交流を心待ちにする様子も見られました。

サービス班

カフェの接客サービスの練習をしました。お客さん、店員等の役割に分かれて交互にやり取りする中で、徐々に打ち解け、会話が弾み、笑顔も見られました。



A組

石鹸づくりとふれあい遊びをしました。高校生が、一人ひとりに合った声掛けやかかわりを、ふれ合いの中で自然と行っている様子が見られました。



農園班

コスモスの花の種蒔きをしました。プランターに石や土を入れたり、種を蒔いたりしました。力のいる作業ですが、協力しながら一緒に作業できました。



工芸班

レザークラフトに取り組みました。道具を共有したり、お互いの製品を見合っって声を掛け合ったりしながらキーホルダーを作りました。自然と会話も生まれました。



11月には、2回目の交流及び共同学習が予定されています。コロナ感染症の状況を見ながら、今回の交流で出された感想や意見を元に、さらに交流が深められるよう計画していきたいと思えます。

地域交流

高等部1年 総合的な探求の時間「大月商店街」

6月14日（火）、高等部1年生の総合的な探求の時間の学習の時間に「大月商店街」との交流を行いました。自分たちの学校がある大月市についての学習を進め、大月商店街について知ったりインタビュー内容を考えたりしました。当日は、実際に商店街を歩いてどんなお店があるかを確認することができました。インタビュー活動を通して、商店街の方々と交流することができました。



電車で移動しました。切符の購入や公共の乗り物利用の経験もできました。

高等部2年 総合的な探求の時間「デイサービスセンターやまゆり」

6月14日（火）、高等部2年生の総合的な探求の時間の学習で「デイサービスセンターやまゆり」との交流を行いました。事前学習の中で高齢者について学習し、望ましい関わり方や、相手の方々に喜んでもらえるレクリエーションやプレゼントについて考えました。プランターに色を塗って花の苗を植え、オリジナルの寄せ植えを作りプレゼントしました。当日は、午後だけの短い時間でしたが、事前に考えてきたレクと一緒に楽しんだり、はじめの会や終わりの会の運営をしたりなど、係の仕事にも責任をもって取り組むことができました。やまゆりの利用者さんもととても楽しみにしてくださり、喜んでいただくことができました。



「グーチョキパー」の手遊び歌と新聞紙の玉入れゲームと一緒に楽しみました。

今後の交流の予定

学校間交流

11月25日（金）上野原高校

地域交流

12月

オオツキッチン（3年 職業Ⅰ）